

自分と仲間と自然のこえを聞く 自然学校

5月30日（月）～6月3日（金）にかけて、5年生の自然学校を実施しました。新型コロナウイルスの影響がどのくらい出るのか、開始まではヒヤヒヤしましたが、天候にも概ね恵まれ、全員元気でやりきることができました。

1日目、顔合わせの後、各班ごとにゲームをしたり、班旗を作ったりして、交流を深めていきました。おしゃべりすごろく等を通して、少しずつ距離が縮まりました。



2日目は、明延を拠点に活動しました。午前中は、明延鉱山の坑道探検。ごつごつした岩肌や、かつて動いていた掘削機などがそのまま残っていて、鉱業について実感できました。午後は、地域のウォークラリーでポイントを周り、一円電車の前で、記念写真を撮りました。



キャンドルサービス

3日目は、山登り。気温、湿度と一円電車の前で、ジャンプも申し分なく、絶好の登山日和でした。途中、見られる山々の連なりは、但馬の大自然を感じさせる雄大さがありました。最後は、名所の大桂に寄り、フィールドアスレチックを堪能しました。



力を合わせてカヌーを操縦

4日目は、豊岡の円山川公苑 ハチ北高原を眺めながらの昼食に移動。午前中は救命艇として利用されるカッターで、力を合わせて目的地をめざし、ミッションをクリアしました。午後は3人乗りのカヌーや一人乗りのカヤックの乗船を体験しました。割と早くにコツをつかみ、池の中を思い思いに漕ぎ進めて楽しんでいました。

最終5日目は、竹野スノーケルセンターで磯観察でした。水はまだ冷たかったですが、活動が始まったら夢中で生き物の観察や採集をしました。

子どもたちは、日に日に話の聞き方が良くなるなど集団行動がレベルアップし、他校との交流も進んで、充実した自然学校となりました。この経験を今後の学校生活に大いに生かして欲しいと思っています。



箱めがねを使って観察中

学校運営協議会を開催しました

6月8日（火）、本年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。

この協議会は、地域と共にある学校をめざして設置されたものです。校長の学校経営方針について意見をいただいたり、地域との連携について助言をいただいたりしました。学校だけでは気づかないことや、地域の方の学校に対する思いを伺うことができ、参考になることが多くありました。

今回の協議を踏まえ、本年度の教育活動を推進してまいります。

令和4年度学校運営協議会 委員		
奥藤 雅行	浅野校区自治協議会会長	
圓山 満	広谷校区自治協議会会長	
眞水 健三	前学校評議員・学識経験者	
田村剛太郎	前学校評議員・地域住民代表	
福田 正行	前学校評議員・地域住民代表	
田村美智代	主任児童委員	
井上八智代	PTA会長	
大下 千春	PTA副会長	
村上 裕樹	学校長	
北垣 大介	主幹教諭	

協議会での主な意見

【子どもの様子】

- ・たいへん落ち着いて授業を受けていた。
- ・たいへん元気でよい。
- ・しっかり手を挙げて発表している。
- ・空席が気になったが、欠席が多いのか。
→特別支援学級の児童分が用意されている。

【安全面】

- ・サッカーゴールにぶら下がらないように指導してほしい。
- ・上箇地区下校路から墓に向かう水路は、途中から深くなり、水量も多い。その先は暗渠になっていて、引き込まれても気がつかない。児童・保護者に注意喚起を願いたい。

【授業】

- ・正解だけでなく、間違いも認められる授業になっており、変化を感じた。
- ・ALTのネイティブの発音に触れられるのは素晴らしいことだ。
- ・ALTの口元が見えるようにフェイスシールドを利用してはどうか。
→早急に検討し、対応する。

【その他】

- ・発達障害等、支援を要する児童について、早期発見、早期対応が重要であると思われるので、配慮と対応をお願いしたい。
- ・校舎北側の屋根の汚れが気にかかる。市教委に継続して訴えていくのが重要である。
- ・コミュニティ・スクールに関して、ボランティアを募集するのであれば、登録制を検討してみてもいかがか。名簿ができれば、必要な時に打診ができる。



広谷小学校は、6月16日(木)、149歳の誕生日を迎えます